

2020年 市民が選ぶ 横浜10大ニュース が決定しました

年末恒例、横浜市内で起こった出来事や市政ニュースについて投票いただく「横浜10大ニュース」
今年、7,546人の市民の皆様から投票いただき、次のとおり決定いたしました。

- | | | |
|-------------|--|-----------------------|
| 第1位 | 新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ「新しい生活様式」が広まる | <3,884票> |
| | 2月にダイヤモンド・プリンセス号の船内で集団感染、4月に緊急事態宣言発令。「3密」の回避や在宅勤務等、生活スタイルが変わる。(2,4,5月) | |
| 第2位 | 横浜市役所の新庁舎が完成 | <3,527票> |
| | 馬車道駅に直結した新しい市庁舎は、低層部に賑わいを創出する商業施設やアトリウム、市民協働推進センター等の市民利用機能、中・高層部に議会・行政機能を集約した。(6月) | |
| 第3位 | 菅義偉氏が第99代首相就任 | <3,246票> |
| | 横浜市議を2期務め、衆院神奈川第2区選出の菅義偉氏が総理大臣に選出され、横浜から初の首相が誕生した。(9月) | |
| 第4位 | 実物大の動くガンダムが山下ふ頭で公開 | <2,444票> |
| | テレビ放送開始40周年を迎え、海外からも人気の「ガンダム」と日本の「ものづくり・技術力」の融合が横浜で実現する。(12月) | |
| 第5位 | 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催延期 | <2,342票> |
| | 野球・ソフトボール競技、サッカー競技の決勝などが行われる横浜では、2021年の開催に向け、準備を進める。(3月) | |
| 第6位 | 横浜北西線が開通 | <2,187票> |
| | 横浜北西線が3月22日に開通し、横浜北線と一体となり、横浜都心部・湾岸エリアから東名高速道路までが直結され、利便性が大きく向上した。(3月) | |
| 第7位 | 横浜駅西口に新たなシンボルが誕生 | <2,145票> |
| | 横浜駅周辺の再整備計画「エキサイトよこはま22」のリーディングプロジェクトとして、「JR横浜タワー」「JR横浜鶴屋町ビル」が開業した。(6月) | |
| 第8位 | 新型コロナウイルス感染症対策に総力をあげて取り組む | <2,135票> |
| | 市は感染症・医療調整本部(Y-CERT)や積極的疫学調査チーム(Y-AEIT)の設置、宿泊療養施設の開設、PCR検査・相談体制の強化等に全力で対応。(2,4,5,7月) | |
| 第9位 | 横浜スタジアム増改築工事が竣工 | <2,067票> |
| | 昨年ライト側に続き、レフト側にもウイング席が新設され、最大収容人数は約3万5千人に拡大、球場を一周できる全長600mの「Yデッキ」も完成。(3月) | |
| 第10位 | 粗大ごみ申込み受付がもっと便利に | <1,925票> |
| | 新たにLINEやチャットボットから、粗大ごみの手数料の確認や問合せ、申込みが24時間365日できるようになった。(3,4月) | |

第11位以下は、裏面のとおりです。

第 11 位以下 (2020 年 横浜 10 大ニュース)

順位	項目	票数
11	新しい横浜市立市民病院が開院 「安心とつながりの拠点」を病院の理念とし、高度急性期医療病院・県内唯一の第一種感染症指定医療機関として、最新の医療提供体制を整備した。(5月)	1,723
12	特別定額給付金等により市民生活を支援 国の給付金のほか、ひとり親世帯への給付金や市営住宅確保、公共料金等の支払猶予・減免等、きめ細かな支援策を展開した。(4,5月)	1,676
13	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者支援 特別経営相談窓口の設置や資金繰り支援、商店街振興、「新しい生活様式」に対応する設備投資補助制度新設等の経済対策を実施。(1,2,5,8月)	1,491
14	みなとみらい・桜木町に2つの歩行者デッキが開通 臨港パークから高島中央公園を結ぶ「キングモール橋」、桜木町から市庁舎を結ぶ「さくらみらい橋」が開通した。(4,6月)	1,383
15	新港ふ頭客船ターミナルに送迎・展望スペース 開業1周年を迎えた「横浜ハンマーヘッド」に隣接する緑地と歩行者デッキ、観光船が停泊する新港ふ頭さん橋が完成した。(8,9月)	1,253
16	IR(統合型リゾート)の方向性を公表 過去最多の5,040人・団体から意見が寄せられたパブリックコメントをもとに「横浜IR(統合型リゾート)の方向性」を公表した。(8月)	1,252
17	梅雨明けが8月、その後過去最高の酷暑に 市の調査では8月の市内平均気温は29.4度、猛暑日は鶴見区で20日と、ともに過去最高を記録。熱中症搬送人員は過去最多の943人となった。(8月)	1,215
18	京急ミュージアムが横浜駅東口にオープン 昭和に活躍した車両の展示や運転シミュレーターの体験など、「本物を見て・触れて・楽しむ」ことができる施設が京急グループ本社1階に開館した。(1月)	1,205
19	注目の音楽スポットがみなとみらい周辺にオープン 3つの音楽施設(ぴあアリーナMM、BillboardLive YOKOHAMA、KT Zepp Yokohama)が開業、さらに多様な音楽が愉しめるまちに。(3,7月)	1,167
20	BAYSIDE BLUE(ベイサイドブルー)運行開始 全長約18m定員113人の国産初のハイブリッド連節バスが、横浜駅東口から山下ふ頭までのベイエリアを走行する。(7月)	1,162
21	学習動画をネット・テレビで配信 休校期間中、児童生徒の学習保障のための動画を配信。また、学校の通信環境や端末の整備を進め、教育のICT化を推進する。(4月)	1,086
22	山下公園が90周年 関東大震災の復興のため、国内初の臨海公園として誕生し、横浜を代表する名所に。日本郵船氷川丸、国指定の重要文化財の帆船日本丸も90年の卒寿を迎えた。(1,3,4月)	1,054
23	小柴貯油施設跡地で工事事故 金沢区の小柴貯油施設跡地で建設発生土の仮置作業中に、作業員と重機が直径約45m、深さ約30mの貯油タンクに落下する事故が発生した。(8月)	850
24	イルミネーションイベント「ヨルノヨ」開催 新港中央広場の華やかなイルミネーションとともに、広場と周辺20施設によるダイナミックな光と音楽の特別演出で、夜の横浜に美しい光が交差する。(11~12月)	813
25	菅首相「温室効果ガス2050年排出ゼロ」を表明 国に先んじて脱炭素化を宣言した横浜市を含む169のゼロカーボンシティの行動が国を後押し。市は市民力でZeroCarbonYokohamaを目指す。(10月)	793
26	市内初の本格的な武道場「横浜武道館」が開館 市民によるスポーツ大会や国際大会にも利用できる施設が誕生。隣接する横浜文化体育館は、9月に惜しまれつつ58年の歴史に幕を閉じた。(7,9月)	773
27	ヨコハマトリエンナーレ2020開催 新型コロナウイルス感染症の流行後、世界に先駆けて開催された現代アートの国際展に世界各地から67組のアーティストが参加。約14万人が来場した。(7~10月)	704
28	新型コロナウイルス感染症対策に寄附集まる 5月に始まった、医療従事者等を応援するふるさと納税の寄附メニューに、市民を中心に支援が寄せられ、10月末までに約1億円の寄附があった。(5月)	667
29	Y校の笹川選手が福岡ソフトバンクホークスからドラフトで2位指名 高校通算40本塁打で左投左打の強打者の笹川選手が指名を受け、横浜商業高等学校から37年ぶりにプロ野球選手が誕生へ。(10月)	657
30	横浜市スポーツ栄誉賞 ラグビー選手に初贈呈 ラグビーワールドカップ2019™で活躍した横浜市ゆかりの3選手(稲垣選手、松島選手、北出選手)が受賞した。(1月)	645
31	世界最大級の船に対応可能な南本牧ふ頭MC4コンテナターミナルが供用開始 MC3コンテナターミナルと併せ、延長900mの国内最大唯一の18m大水深岸壁とクレーンを有する最新鋭ターミナルとなった。(8月)	621
32	ガーデンネックレス横浜2020「秋の里山ガーデンフェスタ」で花々との再会 秋の開催を待ち望んでいた入場者93,700人は、過去最大。市民の身近な花と緑への関心がさらにアップ。(9~10月)	594
33	旧市庁舎の隣接地で超高層複合ビル計画が始動 準備組合が関内駅前港町地区に、商業施設やオフィス、賃貸住宅などが入る高さ約150mのビルを計画。関内地区の新たなにぎわい拠点として期待される。(6月)	541
34	昨年の台風15号で被災した護岸の復旧が概成 金沢区福浦・幸浦地区及び中区本牧地区で護岸壁を約3m程度かさ上げし、消波ブロックを設置する工事を実施。想定し得る最大の高潮・高波による浸水を防ぐことができるようになった。(10月)	534
35	パシフィコ横浜ノースが開業 国内最大級の多目的ホールを有するMICE施設が開業し、11月には初の大型国際会議「2020年JCI世界会議横浜大会」が開催。(4,11月)	480
36	みなとみらいに企業の集積が進む ゲーム制作会社のコーエーテクモゲームスが本社を移転。総合電子部品メーカーの村田製作所がみなとみらいイノベーションセンターを開設。(4,12月)	386
37	馳星周さん(横浜市立大学の卒業生)が第163回直木賞を受賞 母校の横浜市立大学は、「少年と犬」で直木賞を射止めたベテラン作家に祝福のメッセージを送った。(7月)	335
38	横浜マラソンの関連イベントをオンラインで初開催 横浜マラソン2020の中止を受け、スマートフォンアプリを活用し、期間内に好みのコースで規定の距離を走るオンラインマラソンを開催。(11,12月)	267
39	アーティスト等の文化芸術活動を応援 発表機会を失ったアーティスト等の活動助成や最新技術を駆使した映像であたらしい音楽体験を配信する「横浜WEBステージ」等をスタートした。(9月)	204
40	横浜スポーツパートナーズ発足 市内のトップスポーツ11チームが相互の連携・協働を通じて、スポーツ振興や地域活性化などに取り組む、横浜スポーツパートナーズを創設した。(10月)	154

- 1 投票対象：横浜市在住の方
- 2 投票者数：7,546人(詳細は「年代別の投票者数/構成比」をご覧ください。令和元年は4,533人)
- 3 投票期間：令和2年11月19日(木)～12月9日(水)
- 4 投票方法：インターネット及びはがき
2020年の1年間、横浜市内で起こった出来事や市政ニュースなど40項目の候補ニュースを提示し、お一人最大10項目を選んでいただきました。なお、候補ニュースにないものは自由記入をお願いしました。
- 5 その他：抽選で合計550名様に横浜ゆかりの賞品をプレゼントします。

■年代別の投票者数/構成比

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
人数(人)	177	661	1,530	1,983	1,661	942	587	5	7,546
(構成比)	2.3%	8.7%	20.3%	26.3%	22.0%	12.5%	7.8%	0.1%	

■年代別トップ3

順位	20歳未満	20歳代
1	菅義偉氏が第99代首相就任 <67票>	新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ「新しい生活様式」が広まる <285票>
2	横浜市役所の新庁舎が完成 <66票>	横浜市役所の新庁舎が完成 <266票>
3	新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ「新しい生活様式」が広まる <64票>	菅義偉氏が第99代首相就任 <258票>

順位	30歳代	40歳代
1	新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ「新しい生活様式」が広まる <769票>	新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ「新しい生活様式」が広まる <991票>
2	菅義偉氏が第99代首相就任 <620票>	菅義偉氏が第99代首相就任 <824票>
3	横浜市役所の新庁舎が完成 <597票>	横浜市役所の新庁舎が完成 <820票>

順位	50歳代	60歳代
1	新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ「新しい生活様式」が広まる <928票>	横浜市役所の新庁舎が完成 <566票>
2	横浜市役所の新庁舎が完成 <823票>	新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ「新しい生活様式」が広まる <545票>
3	菅義偉氏が第99代首相就任 <709票>	菅義偉氏が第99代首相就任 <460票>

順位	70歳以上
1	横浜市役所の新庁舎が完成 <386票>
2	菅義偉氏が第99代首相就任 <305票>
3	新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ「新しい生活様式」が広まる <301票>

【参考】令和元年の結果（上位 10 位まで）

順位	項目	順位	項目
1	横浜でラグビーワールドカップ 2019 TM 開催 (3,383 票)	6	IR（統合型リゾート）誘致を表明 (1,948 票)
2	相鉄線と J R 線が相互直通運転へ (2,342 票)	7	新港ふ頭に新たな客船ターミナル (1,747 票)
3	金沢シーサイドライン・市営地下鉄で列車事故 (2,286 票)	8	横浜 DeNA ベイスターズが初の C S 本拠地開催 (1,536 票)
4	台風が相次ぎ猛威をふるう (2,161 票)	9	市営地下鉄ブルーラインを延伸へ (1,200 票)
5	京急線でトラックとの衝突による脱線事故(2,107 票)	10	「平成」から「令和」へ改元 (1,163 票)

【参考】平成元年から令和元年までの横浜 10 大ニュース「第 1 位」

年	項目
令和元年	横浜でラグビーワールドカップ 2019 TM 開催
平成 30 年	成人式の晴れ着トラブルで市民や団体等から支援の申出多数、横浜市は特設ホームページや相談窓口を設置
平成 29 年	横浜 DeNA ベイスターズ、19 年ぶりの日本シリーズ進出
平成 28 年	横浜 DeNA ベイスターズが C S ファイナルステージ初進出、観客動員数が約 194 万人で球団史上最高を更新
平成 27 年	市内のマンションや中学校等で建物のくい打ちデータの流用等が確認される
平成 26 年	首都圏で記録的大雪、横浜の積雪 28 センチは観測開始以来 7 番目の多さ
平成 25 年	みなとみらい線、東横線と副都心線が直通運転を開始、横浜市中心部と埼玉県西部が繋がる
平成 24 年	横浜ベイスターズが新生チームとして始動
平成 23 年	東日本大震災発生 市内でも震度 5 強観測
平成 22 年	A P E C 首脳会議、横浜で開催
平成 21 年	中田横浜市長（当時）退職
平成 20 年	横浜市営地下鉄の新路線グリーンラインが開業
平成 19 年	県内最大級の商業施設「ららぽーと横浜」がオープン
平成 18 年	横浜市長選挙で中田市長再選
平成 17 年	G 3 0 ごみ分別拡大全市実施 工場の改修費 1,100 億円節減へ
平成 16 年	みなとみらい線開業
平成 15 年	統一地方選挙実施・23 人の新人の市議員が誕生・松沢新知事誕生
平成 14 年	2002 年ワールドカップサッカー大会決勝戦 横浜で開催
平成 13 年	米国同時多発テロ発生（ニューヨークの世界貿易センタービルなどで同時多発テロが発生）
平成 12 年	青葉区在住の筑波大学名誉教授白川英樹氏がノーベル化学賞を受賞
平成 11 年	横浜市大病院患者取り違え手術（肺の手術患者と心臓の手術患者を取り違えて手術）
平成 10 年	横浜ベイスターズ 38 年ぶり日本一・リーグ制覇に続き、日本シリーズでも優勝 優勝効果で市内経済も活性化
平成 9 年	7 万人を収容する国内最大級のスタジアム「横浜国際総合競技場」が港北区に完成
平成 8 年	少雨のため異常渇水対策本部を設置 2 月、3 月及び 7 月に給水制限を実施した
平成 7 年	阪神・淡路大震災発生 横浜市では被災地に物的・人的援助を行うとともに、市内の防災対策について、避難場所の見直し等の様々な施策を展開した
平成 6 年	輸入米の本格的な販売が始まる。国産米指向の一部消費者の買いだめなどから、米不足に市内スーパーでも米を求める行列ができた
平成 5 年	高さ 296 メートルの日本一の超高層ビル「ランドマークタワー」がオープン 展望フロアに長蛇の列
平成 4 年	大和市で警官殺傷の容疑者が緑区長津田付近に逃走 幼稚園・小中学校が休校に
平成 3 年	東京湾を囲む地域で、コレラの感染者が発生。アオヤギが疑われたが、感染経路不明
平成 2 年	細郷市長が死去、市葬が 3 月 7 日に横浜アリーナで行われた
平成元年	市政 100 周年・開港 130 周年を記念し横浜博覧会が開催される 191 日間 1,335 万人

※ 「横浜 10 大ニュース」は昭和 56 年にスタートし、今回で 40 回目となります。

お問合せ先
市民局広聴相談課長 櫻井 智 Tel 045-671-2301